

[成果情報名] ビワ「麗月」の結果枝の形状と果実の大きさの関係

[要約] ビワ「麗月」は結果枝基部径が大きくなるほど果実重も大きくなる。中心枝では11mm以上で60g以上、果痕枝では10mm以上で50g以上になる。なお中心枝で基部径が約13mm、果痕枝では10.5mm以上になると果実の大きさはほとんど変わらない。

[キーワード] ビワ、麗月、果実重、結果枝

[担当] 農林技術開発センター・果樹研究部門・ビワ・落葉果樹研究室

[連絡先] 0957-55-8740

[区分] 果樹

[分類] 指導

[背景・ねらい]

ビワ「麗月」では、商品性を高めるためには2L（55g以上）を目標階級とし、小玉果を少なくすることが重要である。そこで、結果枝の形状と果実重、果実品質との関係を明らかにした。

[成果の内容・特徴]

1. 中心枝では、基部径が約13mmまでは基部径が大きくなるほど果実重は大きくなるが、それ以上ではほとんど変わらない（図1）。
基部径が10mm以上では概ね果実重55g以上、11mm以上では60g以上の果実となる（表1）。
2. 果痕枝では、基部径が10.5mmまでは基部径が大きくなるほど果実重は大きくなるが、それ以上ではほとんど変わらない（図2）。
基部径が10mm以上では果実重は概ね50g以上となる。また基部径が大きくなるほど1年葉が多く、結果枝長も長い（表1）。
3. 糖度、酸含量及び果実硬度は、結果枝の種類が同じであれば基部径との関係は見られない（表1）。

[成果の活用面・留意点]

1. 開花後の夜温を10℃以上に設定した一般型加温栽培での試験結果であり、種子を5個以上含む果実を供試した。
2. 「麗月」は不定芽の発生が少なく中心枝が確保しにくいいため、整枝・剪定や誘引によって樹冠内部での新梢確保に努める。

[具体的データ]

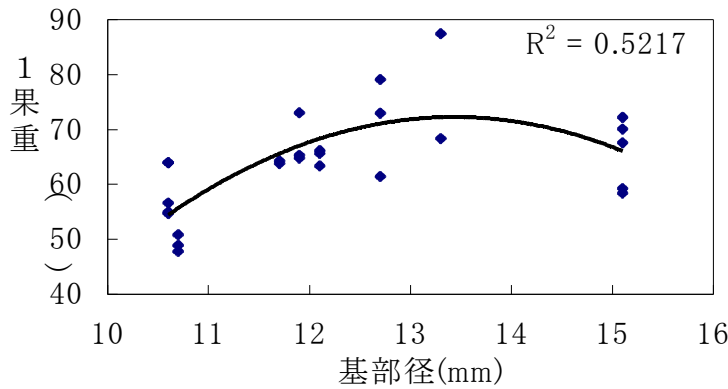


図1 中心枝の基部径と果実重(2007、2008年)

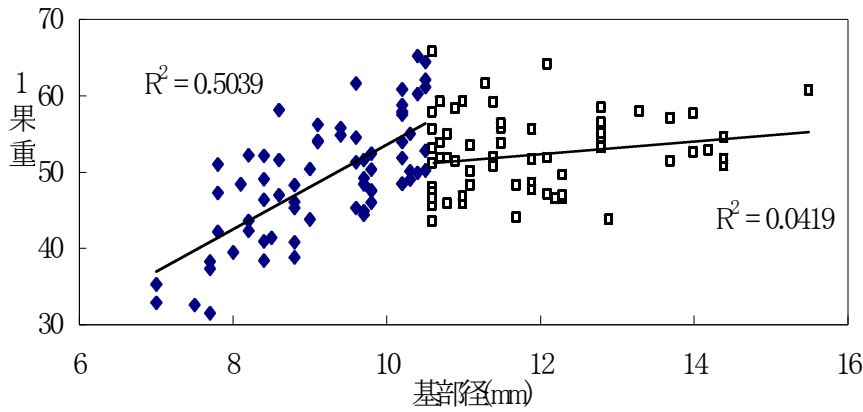


図 果 枝の基部径と果実重 2007、2008年

1 果枝の と果実重、果実 2007、2008年

	果枝の				果枝 (m)	果実重 (g)	果実		果 (個)
	枝基部径 (mm)		1年	2年			(100m)	(%)	
中心枝	10	11mm	14.0	4.9	24.1	55.3	12.5	0.22	268
	11	12mm	9.5	2.8	13.5	63.6			
		12mm	9.6	5.6	10.5	68.0	12.5	0.16	251
果 枝		10mm	12.9	5.6	17.2	46.2	13.6	0.26	279
	10	11mm	13.4	5.8	20.5	53.4	13.1	0.20	277
	11	12mm	17.3	5.5	22.7	51.9	13.6	0.21	288
		12mm	18.4	9.0	28.0	53.1	13.1	0.19	301
			11.7	6.4	43.0	49.3	12.6	0.23	283

の の の 重 5

[その他]

研究課題名 : ビワ新品種による超多収・良食味果実生産技術の確立
 予算区分 : 県単
 研究期間 : 2006～2010年度
 研究担当者 : 徳嶋知則、林田誠剛